



さざんか



いきいき絵画展「kawabata masato カラフル×アニマルズ」

内容

- いきいき絵画展
- キャピリンピック (障がい者運動会)
- 人材発掘について
- 突撃！隣のケアホーム (ドラゴンホーム)
- 事業所だより
- 自主生産品紹介
- 後援会定期総会報告
- 宝塚サマーフェスタ
- 夕暮れコンサート
- 会長より
- 金岡前後援会会長を偲んで
- 後援会先進地バス見学会
- 栄養士さん・看護師さんの知恵袋
- 日誌・お知らせ・人事・編集後記

発行 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚さざんか福祉会後援会
運営事業所 宝塚さざんかの家 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 宝塚けやきの里 ワークプラザ宝塚
かしの木工房 こはま いきいき宝夢 障害者就業・生活支援センター (あとむ)
相談支援センター (だんぼ) 地域生活支援センター
法人事務局/後援会事務局
宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会 電話0797-83-6544 FAX0797-83-2510

宝塚市市制60周年記念大会

第34回 キャピリンピック(宝塚市障がい者運動会) を振り返って

平成26年11月9日(日)

今年には宝塚市制60周年、歌劇が100年、手塚記念館が20年という年にあたり、めでたい年でもありました。

そんなトリプル周年にふさわしい運動会にしたいということになり、新しく加わった競技や変更された競技に加え記念品や記念幕も用意され、綿密に実行委員の方や大会関係者の方と連携をし、競技の打ち合わせにも前々日まで取り組みました。

また、当日参加者に配布される記念品については、授産品を扱っている3つの事業所が記念品制作に参加する事になりました。

今回記念品を制作する事業所(授産品)は、宝塚さんかの家(マグネット2個セット)、宝塚めふプラザ(記念ロゴをプラストしたコップ1個)、希望の家ワークセンター(記念ロゴをプリントしたカンパジ1個)の3事業所で、3個をセットにして600セットを作ります。ラッピングも宝塚めふプラザがお引き受けして大忙しでしたが、大きな収入になる為各事業所張り切って取り組みました。

キャピリンピック当日は、あいにく雨の天候となってしまう、大会に参加された方は当初600名の予想でしたが、実際は約500名でした。幸いなことに体育館のメインアリーナを1日借りることが出来たことで、体育館でしかないメリットもあり、また違った運動会が出来たような気もしました。

メリットとして天候に左右されずに行える

こと、放送の音が良く聞き取れたこと、トイレも近くにありすぐ選手が対応できたこと、汚れないこと、テントを張らなくてもよいことや2階から見渡せるなど意外にもメリットが多かったことは良かったと思います。

しかしデメリットについては走り込む競技が困難であったり、会場では飲食禁止だったり、その他今後の改善点もありました。

初めての競技にも挑戦しました。特に玉入れ競技は選手たちにとって分かりやすく、投げ入れる「この単純さが良かったようです。少し付け加えると次回玉入れ競技を行う場合、体の不自由な方や背の低い方向けの玉入れもあっていいのかな・・・と一層楽しい運動会になると思いました。

ダンスの部についても意外に沢山の方が参加してもらえたことは嬉しい驚きでした。次回も競技にダンスを加えることは大会を盛り上げるきっかけになると思います。



記念品のカンパジ・コップ・マグネット

最後にもうひとつ付け加えるとすればゆるキャラの登場です。今年には記念の年にちなんで鉄腕アトム・ハバタン・スミレンの登場は今までにない豪華さでした。その中に入って頑張られたスタッフは汗びっしょりなりながらも頑張ってください本当にありがとうございました。

このキャピリンピックを40年、60年と続けていくにあたり、スタッフみんなが一つになり、常に新しいものに挑戦できる思いを持って、次に繋げていく。そんな期待の持てる運動会行事になってほしいと思います。

(宝塚めふプラザ 廣島 忠延)
(宝塚めふプラザ 飴谷 誠)



いきいき絵画展「kawabata masato カラフル×アニマルズ」

平成26年10月22日(水)～24日(金)

ユニークで力強いカラフルな動物たちの絵がアピア1の吹き抜けロビーふれあい広場に展示されました。

作者はいきいき宝夢で生活されている川畑政人さんです。この展示会は、昨年、写真家の野住千恵子さんとコラボレーションでステンドグラスのランプ展をした続編ともいえます。

ふれあい広場の明るさを利用し、カラフルで元氣いっぱい展示ができるようにパネルの配置も考えました。

当初は「いきいき絵画展」の名前通り、いきいき宝夢から生まれた作品で、展示会などの賞をもらったものを展示しようと企画していましたが、一人ずつに絞って紹介していくことになりました。それほど一つひとつの作品には力があり、個性的なのです。折角たくさんの方に見ていただけるのであれば、印象に残る展示(紹介)をしたいという事になりました。

川畑さんは、いきいき宝夢の4番バッテリー的存在であり、アート活動以外でも、様々な作業、活動で活躍されています。本人はシャイなので、作品について説明してくれたり、コメントしてくれたり



足運んでもらう為に、オリジナル限定グッズとして、Tシャツやソフトポーチなどを製作しました。売れ行きはまずまずで、展示会から、お店へ足を運ばれるお客さんがたくさんおられたようです。

アンケートに協力していただいた方が、「色彩にすごく感動しました」「4歳の子供が喜んで見えました」「つい見入ってしまう絵ですね」とたくさん感想をくださいました。

はしません。でも、笑顔の一つ、気配りの一つに川畑さんの優しい人柄を感じる事ができます。

今回はそういった事を伝えられるように、写真パネルも作って展示を行いました。本人には当日登場してもらい、実際にポストカードや、チラシにサインをしたり、感動してくれたお客さんと握手をしたりとPRを行いました。本人は応援の言葉をいただいたりして嬉しかったようです。

また、同じくアピアにある宝塚さんか福祉会のお店、「SasanQuality」へお客さんに



ランプ展の時はアンケートに協力していただいた方が128名でしたが、今回は、それを上回る189名の方が答えて下さいました。アピアの管理会社からも、「また、来年もお待ちします」と言っていたいただき、福祉会の取り組みを発信できる場として大切にしていきたいと思います。

(宝塚めふプラザ 所長 溝田康英)



福祉会職員人材発掘に 関する件

全国的に、障害者支援事業所で生活支援員として働く人材の不足は慢性化しており、また、少ない人材の中でも、支援資質の向上が求められ、現実は大変厳しい時代になったと感じる方も多いのではないかと思います。

私たち福祉会の人材もまた、時代に即した状況下におかれ、生活支援員が少ない現状にあります。しかし、人不足については、ハローワークや情報誌に募集をかけることしかできず、福祉会としても他にどういった方法があるのか、悩ましくもどかしい現状がありました。

そんな中、待っていても、良い人材は発掘できないと考え、実際に動いてみることにしました。人材発掘は、管理職にしかできない、管理職として、しなければならぬ大切な仕事だと思つて…。

昨年度末3月、神戸で開催された福祉の就職フェアに参加した折に、労働局求職者支援制度を利用した、介護福祉士資格を取得するための教育機関が存在することを知りました。「ジョブ&ワーク」との出会いです。そこでは、数

多くの学生たちが介護福祉士を目指して学習しています。

そんな学生の中から6月に3名の卒業生が法人見学を希望して来訪されました。そこで、障がい者を対象とする仕事に興味を抱かれ、臨時職員として入職する運びとなりました。(現在は嘱託職員)

私は、この3名の意欲ある姿勢を見て、学校にはまだまだ人材はいるのではないかと、

ジョブ&ワーク三宮校に出向き、代表者と面会することになりました



(7月25日)。

ここで分かったことは、2点あります。介護福祉士を目指す学習の授業には障害福祉を学習するカリキュラムがとて少ないことと、障害者福祉を志望する生徒も少なからず存在するということでした。私たち福祉会は、これまでの新卒者を獲得することだけではなく、社会には30〜40歳代の障害福祉に興味関心を抱いた方が少なからず存在

することに目を向け、意欲ある中途採用者にも有能な人材としてターゲットを置く視点を持たなければならぬと思いました。

この先、社会の景気が回復に向かうと、資質の高い支援員の確保は、より一層難しくなると予想されます。それでも、私たちの障害者を支援する仕事は、誇りを持って取り組める、人として奥深さを感じる大変やりがいのある仕事であることを強く発信しながら、人材の発掘をしていかなければなりません。

最後に、この度お付き合いが始まりました「ジョブ&ワーク」とは、今後、ジョブ&ワーク三宮校にて行われている授業において、障害者福祉施設の仕事を私たちが講義する時間をいただくことと、現場実習の選択実習先にさざんか福祉会の7事業所を使っていたくという2点をお約束していただくことができました。

このチャンスを生かし、障がいを持つ人を支える、資質の高い人の数が世の中を増えることを願って取り組みを進めていきたいと思えます。(宝塚あしたば園 所長 辻井善弘)

突撃！隣のケアホーム

第十一回 ドラゴンホーム

10月14日大型台風が過ぎ、急に肌寒さを感じるような夕刻、山本南にある男性4名の「ドラゴンホーム」を訪れました。初めて利用者さんが考え、投票によって決まったホーム名だそうです。2年半前、辰年にホームがオープンしたので発案されたそうです。

玄関を開けると大きな靴がいっぱい、体格の良い若者たちのホームでした。

食卓には夕食がほぼ用意されていました。さんま一匹、肉じゃが、モズクの酢の物、みそ汁、フルーツが添えられていました。席に着くと森川支援員さんがご飯の盛り付け、海賀調理員さんが焼き魚に大根おろしを添えられ、利用者さんが冷蔵庫からポン酢を取り出されるところを見ながら、支援員さんが手を合わせて「いただきます」と言われると一斉に箸が進み黙々と。あっという間に夕食が終わりましました。流しまで食器を運ぶ



とすぐ自室に戻る人、お風呂に入る人、夫々が動き始めました。野口さんは取り込んであった洗濯物をせっせと畳み分けて、各自の部屋まで運んであげていました。その様子に感心していると「いつも彼がしてくれているのですよ」と支援員さんが。

一方、支援員さんに「車のキーを貸して」と、せがんでいる中澤さんが。彼の狙いは車の中にある雑誌「ジャンプ」のようでした。2人のやり取りを聞いてみると日頃の様子が変わり、2人の知恵比べのようでした。物静かな支援員さんでしたが夫々の方の特徴を見て、支援に当たっておられる様子が伺えました。食後静かに席にいた浅山さんはテレビの天気予報がお気に入りというのでそれが済むまで部屋に帰らないようにとの約束があるようでした。訪問した日も午後7時の天気予報を見終えるとすぐ2階へと。ゆつたりと過ごせる自室が落ち着かれるようです。

調理員さんは時には支援員として入ることもあると。買い物をして、調理して、後片付けをして7時過ぎに玄関まで2人の利用者さんに見送られて帰られました。8時からのティータイムまでは各自、自由に過ごしておられるようでした。

パズルの得意な野口さんが30ピースを机上で黙々と。仕上がりの絵も見ずに、1時間もたたないうちに完成。拍手で讃えましたが本人はすぐ崩れかけたはず始められたのには再度、驚きでした。

中澤さんもパズルをされるようで日本地図のパズルを取り出して。彼はピースをはめ込みながら支援員さんの質問に県庁の所在地や特産物を教え

てくれました。

8時には、食後早々に部屋に入ってしまった出口さんも顔を見せて、ドラゴン命名者の弁を聞きました。部屋ではビデオで映画を見たり本を読んだりしているとの事です。ブックオフへ



行って買い求めたりもされているようです。「英語の本は高いですから・・・」ということから彼は8年間もシカゴに住んでいたという話をしてくれて、支援員さんのスマートフォンで地図まで出していろいろ話をしてくれました。

訪問の時間はあっという間に過ぎ、お部屋拝見も出来ませんでした。1階が一部屋、2階に三部屋あり、部屋割りの方もスムーズにしているようです。支援員さん、利用者さんの様子を伺っていると朝食の買い物、外食なども一緒に出かけておられるようです。言葉数は少ないホームですが和やかな雰囲気伝わってきました。

明朝も元気に事業所へと出かけられることを願って、ホームを後にしました。

(広報部)

事業所だより

宝塚げやきの里

「楽しかったこと！」
京都方面に日帰り旅行に行きました。
亀岡の湯の花温泉までは下道走り、山々の紅葉を楽しむことができました。



湯の花温泉 松園荘保津川亭玄関前にて



松園荘では入浴・食事・宴会を組み入れて一泊旅行のような内容を計画しました。
京都と言えは八つ橋。八つ橋つくりにも挑戦しました。出来上がりは3個のはずが、なかなか説明通りにはいかず四苦八苦していました。げやきの里のみんなでお風呂、みんなでカラオケ、みんなで八つ橋つくりと限られた時間のなかにやりたいことをいろいろ詰め込んだ旅行でした。
帰路のバスで「楽しかった！」と喜んでもらえたことが嬉しかったです。来年はもう少し時間に余裕がある旅行を考えたいと思います。

(所長 平賀 浩子)

宝塚さざんか福祉会の「モノ・コト・バ」

宝塚せげんかの家

10月のレクレーション活動として「ませませクッキング(フルーチェ)」に挑戦しました。言葉の通り「混ぜる」がメインですが、自分で簡単なおやつを作る体験と牛乳を正確に量る挑戦を目的に取り組みました。
いちごの香りに誘われていざ食堂へ。手順に沿って、牛乳を50ml量る秘密兵器(色テープで印を付けた透明カップ)が大活躍しました。
混ぜるスプーンをほとんどの利用者が忘れるというハプニングに見舞われましたが、みんな笑顔いっぱい楽しくおいしく頂きました。
(小形 和恵)



宝塚あしたば園

「あしたば園のイイモノ」
あしたば園では近隣地域又は関係者の皆様からのご協力で沢山のアルミ缶を回収しリサイクル作業を行っています。
缶プレス機は初代のプレス機から時代と共に変化。電動プレス機が登場しました。
電動プレス機は缶を缶口へ入れると自動でプレスされた缶が下に溜まる仕組みになっており、電動プレス機の存在により仕事に取組み易い利用者さんが随分増えました。
人の個性やスキルを含め「みんなちがってあたりまえ」を実現するには、その人のスキルではなく、支援の在り方の創意工夫をし続ける事が大切だと日々実感しています。
(主任 山下 知二)



かしの木工房 ぼほま

かしの木工房 ぼほまでは、今年度も「宝塚グルメアカデミー」を開催し、後期は10月22日(水)に行いました。
内容はかぼちゃのクッキーなどを使用して、親子でハロウインの飾り付けを行う体験教室と事業所見学です。当日は5組の家族の方と利用者様が参加し、まずはクッキーの飾り付けを行いました。どのグループの方も思いおもしろい飾り付けがされており、素敵なデコレーションクッキーが出来ました。
その後はかしの木工房の各フロアの見学を行いました。利用者の作業風景を真剣に見学されている様子が印象的でした。
(豊田 篤史)



いきいき宝塚

「口谷秋祭り」ハロウィンパーティー」
10月3日(金)
いきいき宝塚のある口谷地区の住民の皆様とワークショップ宝塚と合同で「口谷秋祭り」ハロウィンパーティーを行いました。
これまでも夏祭りやお餅つきなど地域の皆様との交流を行ってききましたが、今回の試みはより大きなイベントの開催となりました。
準備段階では地域の皆様に来ていただけたか、楽しんでいただけたかと心配でしたが、当日は想定を超える地域の皆様に来場いただき、笑顔いっぱいで大成功をおさめました。ご来場・ご協力ありがとうございました。
今後とも地域との交流を深め、口谷地域を盛り上げていきたいと思っております。
(鎌倉 卓也)



ワークショップ宝塚

10月3日(金)
15時〜19時、ワークショップ宝塚&いきいき宝塚にて地域の方々、保護者会や民生委員のご協力のもと口谷祭り(ハロウィン)仮装パーティーが開催されました。
利用関係者以外100人を想定していましたが、はるかに上回る200人以上の方の参加となりました。
今後も口谷地域での交流を活性化し、発信していく為にも、次回に繋げていきたいと職員一同考えております。



皆で仮装して踊りました^^

クレーンゲーム、取れるかなあ^^

(ワークショップ宝塚職員一同 編集・趙)

平成26年度「宝塚さざんか福祉会後援会」定期総会 平成26年6月5日



記念講演

「子どもを残して安心して死ねる
未来をつくる」

(株)トライフ代表取締役
(一社)セルザチャレンジ代表

手島 大輔

障がいをもつ兄弟の親でもある手島さんは、長男の障がいが分かった時にたまたま知った働く障がいの者の工賃の現状を知り、親として息子の将来に何が出来るのかを考えられました。その一つに香りが出るアロマキャンドルを考案、伊勢丹新宿店等で販売を始めました。結婚式場で使われたキャンドルを譲り受け再利用し、「幸せのおすそ分け♥」どこにでも売っているという事をしなかったと話されました。障がいの者の暮らしを応援しよう、少しでも豊かにしようと考え、福祉施設の商品開発を手伝うボランティア団体を仲間と立ち上げ、自主製品の販売や販路拡大もされています。炒めた玉ねぎのビン詰作業で働く障がいの方の「工賃はともあれ、やりがいです。社会につながっている。」という言葉が印象的でした。

親亡き後の心配を思い、強い事業所を作り出すことに挑戦し続け、虫歯・歯周病・誤嚥性肺炎・口臭への効果のある飲み込んでも安全な口腔ケア商品「オーラルピース」を開発、発売。全国の福祉施設と連携して障がいの者の仕事づくりと収入向上へ取り組んでおられます。主要百貨店で取り扱われ、メディアでも取り上げられています。

このオーラルピースはいきいき宝夢でも販売し、収入は利用者の工賃に繋がっています。障がいの者が生まれ育った町で自活できる道を考えられている手島さんの強い思いが心に響く素晴らしい講演でした。

(広報部)



サザンクオリティ

「行ってききました舞鶴へ」

秋晴れに恵まれた10月29日、SasakuQualityはJRを利用して日帰り旅行に出かけました。舞鶴湾を望む高台にある「ほのぼの屋」でランチを頂きました。

こちらの店は、「まいずる福祉会」が経営する本格フランス料理レストランです。ナイフとフォークを使うコース料理に少々緊張気味。背を正してフレンチを頂く姿は皆さん紳士淑女でいらつしやいました。そして、美味しいだけでは帰れません！私たちの仲間が接客をされている姿を見てサンクで活かせることを見て学ぶという大きなミッションがありました。皆さんそれぞれに何かを感じ取っていたらこの旅は大成功です。

食後は湾岸をドライブ観光の後、「かまぼこ作り体験」熱々の手作りの蒲鉾、竹輪はご家庭への良いお土産になりました。

(木ノ下 美智代)



(舞鶴港・イージス艦を背に記念写真)

宝塚めぐらざ

最近のめぐらざで楽しかったコトは、やはり旅行でしょうか。今年度は日帰り旅行になりました。

「一泊旅行はちよつと・・・」と参加しにくかった方も参加することができ、今までで一番参加者の多い旅行となりました。行先は京都方面と近くでしたが、その分時間をゆつくり使えますので、話題の京都水族館や、リーガロイヤルホテルでのバイキング、おなじみ太秦映画村・・・と時間いっぱいまで遊んで帰ってきました。

一泊旅行の魅力も捨てがたいですが、皆さん思いのほか満足して「楽しかった」とよい表情でした。ホテルでのバイキングがよほど気に入ったのか、その後のヘルパーさんとの外出もバイキングに行く人が増えたとか・・・。

(松永 仁美)



サマーフェスタに雪が降る・・・♪ 末広中央公園 平成26年8月20日(水)



晴天に恵まれ、会場は午後2時過ぎから沢山の親子連れで賑わっていました。なんと、公園の噴水あたりに雪(人工)が降り、積もっているではないですか。トーマスの機関車やふわふわスライダーも登場。沢山の出店や工作・体験コーナーもあり、会場は子ども達の歓声に包まれていました。ピンクの幟(のぼり)がはためく、さざんか福祉会のブースでは、PRとして、いきいき宝夢の利用者さんが「チラシ入りのティッシュ」を、売布プラザでは小さな子どもさんに「缶バッチ」を、また試食用のクッキーも配り好評でした。

定番のクッキーやケーキ、あしたば織りや組み紐の小物に加え、ステンドグラスやスマホのイヤホンジャックが販売されました。



日が落ちる頃にはステンドグラスが灯り、ブースの後ろの芝生では、あちこちにシートを敷いた家族連れが夕涼み風情でお祭りを楽しんでいるのが印象的でした。やがて、中央の櫓(やぐら)を囲み盆踊りも始まり、祭りは最高潮に達していました。皆さんの知恵と行動力が功を奏し、売り上げは約9万円と昨年より3万円もの増収だったとか・・・。

(広報部)



宝塚さざんかの家 自主生産品「ポンポンたわし」

今年度、自主生産品の一環としてナイロン生地でたわしを作ることになりました。まん丸い、弾けるような形から「ポンポンたわし」と名付けました。

たわしが出来る迄の工程では色選び、針と糸で縫って縮める、布を広げる等を利用者の方に携わって頂いております。利用者の方の知られざる一面も垣間見られたりして驚くこともあります。

製品は総合福祉センター内喫茶「COCORO」、こむの事業所、安倉コープ横の美容室「ルーチェ」で販売され、地域の皆様に愛用されています。

これからも利用者と共に愛されるたわし作りを目指してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。(藤原 利枝子)



美容室「ルーチェ」でも販売



小サイズ直径12cm
150円

第11回 夕暮れコンサート
平成26年9月6日(土)



今年は記録的な大雨でこの日もあいにくの雨...

しかし、実行委員会の配慮で舞台もプログラムも晴雨両方用意されていました。

ふらさこむの3階フリールールの受付でマラカス代わりの古米や古小豆の入ったペットボトルをもらいテーブル席に着くとすでに屋台のフランクフルトをほおばっている人もいました。

甲子園大学の学生さんの司会進行でコンサートが始まると舞台とマラカス?を振る客席が一体となり、中には指揮者よろしく椅子から立ち上がらなばかりの観客もいました。

宝塚めふプラザはチョコバナナ屋さんを出店し、今年は「チームめふ」が舞台に立ち華麗なダンスを披露しました。手をつなぐ育成会出身のジャズダンスクラブ「スタジオFC」はベテランらしく勢いのある踊り、ワークプラザ宝塚からは「恵比寿」がソーラン節を力強く踊り観客を魅了しました。

他には、手作り楽器の演奏グループ、特別支援学校の卒業生による男声合唱、華やかな衣装でのフラダンスグループ等々。お祭りは多彩な内容で観客は生演奏と歌と踊りにビールも加わって酔いしれました。

16の出演グループと10の出店がお祭りを盛りあげ、用意した600枚のプログラムもなく程の盛況で専心会の手打ちうどん13食がすぐに完売しました。

回を重ねる毎に益々充実してきているお祭りは今後楽しみです。願わくは、来年は晴れで地域の方々がもっと多く参加してくれそうです。

(広報部)

宝塚より...

日頃より、宝塚さんか福祉会後援会活動に多大なるご協力ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

先日、11月の訪問時、交通量の多い道路を、二人乗りのバイクがノーヘルで走っており、後ろの子供が飛び跳ねていました。

現地の方に、中国の障がい現状をお聞きしたところ、中心地では、障がいに対して政府対策が進んでいるが、田舎の方では、障がい者学校はもとより対策すらないようです。

しかし、田舎町とはいえ、私が行っている町には、電柱がなく、地下化されているので、美観がとてもいいのです。

日本の宝塚さんか福祉会が世界に誇れる事業所として、皆様、力を合わせて進めていきましょう。

(小田切 隆幸)

宝塚さんか福祉会後援会元会長
故金岡武雄氏を偲んで...

平成26年3月に宝塚さんか福祉会後援会第2代・4代会長の金岡武雄様のご逝去されました。

金岡氏は、宝塚市で植木園芸の会社を営まれ、宝塚市商工会、後の宝塚商工会議所では、理事・常議員はもとより、植木・園芸部会長をなされ、宝塚市の花と植木園芸の街づくりに多大なる貢献をなされました。

また、金岡会長の地元山本地区で開設したワークプラザ宝塚では、パンジー栽培を一から丁寧にご指導くださったほか、高価で買えなかったフュージングガラス用の電気窯をライオンズクラブとしてご寄贈下さるなど、自主生産品の発展にも大きなご支援を頂きました。

宝塚さんか福祉会に寄せて下さった温かいお心遣いはいつまでも忘れることは出来ません。ありがとうございます。

金岡会長いつまでも素敵な笑顔で見守ってください。心から感謝申し上げます。

合掌



先進地バス見学会
平成26年11月19日(水)

11月19日(水)に京都府亀岡市にある「社会福祉法人松花苑」に42名で行ってきました。

「ワークスおーい」は生活介護と就労継続支援B型の多機能型事業所で、クリーニングやベーカーリーカフェ「ばすてる」、農園芸、清掃等の事業をされています。

クリーニングは老人ホーム等いくつかの得意先があり、シート・タオル類等リネン関係のクリーニングを請け負っておられます。

変とのことでしたが、業務用の大きな機械を導入してのクリーニングは収益も大きいそうです。

ベーカーリーカフェでは焼きたてのパンが売られていて大いに胃を刺激してくれました。

卵白の用途を考えたのが製菓部門の始まりだそうです。

「かしのき」は定員40名の入所施設で8名から12名(全室個室)のユニットになっています。

は力量や個性に応じ生産活動と日中活動に分かれて活動しているそうです。

広い敷地内には門や囲いがなく、カフェに來られた親子連れのお客様が施設内の広場で遊んで帰られることもあるそうで、自然と地域の方々との交流ができるのは良い環境です。

これからのニーズに合った事業拡張を考えておられるようですが「なにぶん予算と人手がたりなくて...」とおっしゃっていました。

「人不足はどこも深刻な悩みようです。昼食後「みずのき美術館」に寄り、暫し芸術に浸り帰途につききました。

(参加保護者 古田)



栄養士さん・看護師さんの知恵袋

《たががコーヒー》

みなさん、コーヒーはよく飲みますか？

最近、コーヒー教室で学ぶ機会があり、同じコーヒー豆でも、煎り方でカフェインの量が変わり、効果的な飲み方があることを知りました。

浅煎りの豆は、深煎りの豆よりもカフェインが多く含まれており、またクロロゲン酸というポリフェノールも含まれているので、酸化作用(発がんリスクの軽減)や、糖の吸収をゆっくりにして急な血糖値の上昇を抑え、脂肪の燃焼を促進してくれます。

深煎りは、加熱によりクロロゲン酸はなくなりませんが、その代わりに加熱によってできる成分が、酸化作用や気分を和らげてくれ、香りによってリラックスできます。

例えば、目覚めをスッキリしたい時は、カフェインの多い浅煎りのコーヒーを。

ダイエツト中は、浅煎り〜中煎りのコーヒーを食事の前に。

おすすめは、食後に深煎りのコーヒーに牛乳を少し入れます。

牛乳に含まれるトリプトファンが体内でセロトニンに変わり、心を落ち着かせてくれ、よく寝る事ができます。

1日1〜3杯のコーヒーが適量だといわれています。服薬中の方などカフェインがダメな方もいるので、無理なく個人の体調に合わせて、コーヒーを楽しんでください。

(栄養士 藪内かずみ)



《痛みが起きた場合》は冷やす
《温めるのは痛みが引いた後》に

ズバリ、結論から急性期には冷やす、慢性期は温めるのが基本です。

急性期とは痛みが出てきた時期のことをさし、捻挫(ねんざ)や打撲、ぎっくり腰といったものの受傷直後が当てはまります。

人間の身体は細胞で構成されています。急性期の損傷部位はその細胞が多数破壊された状態です。

この時期に温めると炎症反応を助長することになるため、冷やすことが望ましいといえます。

炎症が治まったあとは細胞の修復を図るため栄養に富んだ血液が必要になります。

しっかりと温めてあげることにより損傷部位に血液を集め、早期の回復を図るのです。

では急性期はどれくらいか？これは人によっても場合によっても異なりますが、だいたい発症から2〜3日までをいいます。

痛みが急激に出てから2〜3日くらいは冷やすのがよいのです。急激に痛みが強くなったとき、局所が熱く感じる場合には安静にして冷やし、その

後痛みが和らいだ時期には温めると覚えておいてください。

ただし、温めている最中にまた損傷部位が痛くなったら、また冷やしてあげることが肝心です。

(看護師 財津雅代)



日誌

自平成26年5月1日
至平成26年11月30日

- 6・5 宝塚さざんか福祉会後援会定期総会
- 6・7 リサイクル販売会(クリーンセンター)
- 6・11 おいしい街宝塚 グルメアカデミー参加
(親子クッキー作り体験)
- 6・19 法人研修 新任職員研修
- 6・25 法人研修 管理職研修(コーチング①)
- 7・1 安土夢ホーム1オープン
- 7・12 法人研修 全体研修
- 7・30 法人研修 管理職研修(コーチング②)
- 8・20 宝塚サマーフェスタ出店
- 8・29 法人研修中堅職員研修①いきいきホール
いきいき宝塚「夏祭り」
- 8・30 夕暮れコンサート(プラザコム1)
- 9・6 「福祉事業所合同説明会」アピアホール
- 9・21 いきいき・ワーク合同 口谷地域秋祭り
- 10・3 法人研修 新任職員研修
- 10・16 宝塚あしたば園 女鹿 登志子(新規採用)
- 10・22 おいしい街宝塚 グルメアカデミー参加
(ハロウィンクッキー)
- 10・24 法人研修中堅職員研修②いきいきホール
- 11・9 キャピリンピック参加(スポーツセンター)
- 11・16 障がい者週間記念事業
- 11・18 おいしい街宝塚 グルメアカデミー参加
(クリスマスクッキー)
- 11・19 後援会バス見学会(亀岡市 松花苑)
- 11・22 法人研修 権利擁護研修

法人施設市民見学会のお知らせ

日時 平成27年2月6日(金)

午後1時30分〜午後3時30分

場所 社会福祉法人宝塚さざんか福祉会
安倉南作業所

グループホーム

「安土夢ホーム1・2」

詳細は後日チラシを配布いたします

人事

7月1日付

職員

かしの木工房 こはま

横田 恵理子
(地域生活支援センター)

10月1日付

嘱託職員

宝塚あしたば園

女鹿 登志子(新規採用)

ワークプラザ宝塚 伊藤 由美子(新規採用)

かしの木工房 こはま 遠藤 くるみ
(新規採用)

かしの木工房 こはま 野崎 卓称
(新規採用)

いきいき宝塚 守田 卓司(新規採用)

9月30日付退職

新井 絢子(かしの木工房 こはま)

10月20日付退職

遠藤 くるみ(かしの木工房 こはま)

編集後記

季節の移り変わりは早いもので、もう12月になってしまいました。

先日、法人の権利擁護研修として東田直樹さんとお母さんをお招きして講演をしていただきました。

東田さんは重度の自閉症者でありながら、文字盤を指差しながら言葉が発していく「文字盤ポインティング」やパソコンを利用して、会話や執筆を行う作家さんです。本人の講演はもちろん、会場からの質問にも直接、東田さんの言葉で思いを聞かせていただき、とても感動しました。

障がいはその人の一部分でしかない。それも含めた一人の人として見ていくこと。まだまだ、障がいの部分しか見てもらえない、触れられていない利用者の方もいらっしゃると思うと、自分の未熟さに気づいた恥ずかしさと、これからの自分たちのやるべき仕事の奥深い道のりを、照らしていただいたような気がしました。

今年もいろいろな出来事がたくさんありました。来年2015年が皆様にとつて明るい年になりますようお祈り申し上げます。

(宝塚めふプラザ 所長 溝田康英)

